【がん種】 小細胞肺癌
【レジメン名】 CDDP+VP-16+Durvalumab
【登録番号】 100312
【1コースの期間】 3週間
【総コース数】 進行・再発：4コースまで（終了後にPDでなければDurvalumabメンテナンスを施行する）
【催吐性リスク】 高度：シスプラチン、軽度：ラステット、最小度：イミフィンジ
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：ラステット（漏出時の冷却禁止），シスプラチン、ノンビシカント（非壊死性）：イミフィンジ
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 編集中
【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 Lancet 394:1929-1939, 2019.
【点滴の時間】 [day1～]73時間
【費用】 編集中
【その他】 イミフィンジ：正式採用品ではないため「限定使用薬品申請書」の薬剤部への提出が必要. 対象患者：アルコール不耐性でない患者. ラステット：調製後3時間以内に投与を終了する.

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日					
					1	2	3	4	…	21
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○					
2	ソルデム3A 500mL	1 B	側管	90分	○					
	硫酸Mg補正液 20mEq/20mL	0.4 A		AM8:00～						
3	ソルデム1 500mL	1 B	側管	90分	○					
4	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○					
5	生理食塩液 100mL	1 B	側管	1時間	○					
	イミフィンジ点滴静注	1500 mg		フィルター使用						
	体重30kg以下の場合は20mg/kg									
	調製開始から13時間以内に投与終了									
6	生理食塩液 50mL	1 B	側管	全開	○					
7	生理食塩液 250mL	1 B	側管	30分	○					
	プロイメンド点滴静注用 150mg	1 V								
8	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分	○					
	アロキシ静注 0.75mg	1 V								
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A								
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V								
9	5%ブドウ糖液 500mL	1 B	側管	90分	○					
	ラステット注	100 mg/m2								
10	生理食塩液 100mL	1 B	側管	15分	○					
11	生理食塩液 100mL	1 V	側管	15分	○					
	ラシックス注 20mg/2mL	1 A								
12	生理食塩液 250mL	1 B	側管	90分	○					
	シスプラチン点滴静注「マルコ」	80 mg/m2		遮光						
13	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	90分	○					
14	ラクテック注 500mL	1 B	メイン	9時間　残破棄	○					
15	ソルデム3A 500mL	1 B	メイン	8時間		○	○	○		
				AM0:00～						
16	ソルデム3A 200mL	1 B	メイン	3時間		○	○			
17	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ		○	○			
18	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分		○				
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V								
19	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分			○			
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	2 V								
20	5%ブドウ糖液 500mL	1 B	側管	90分		○	○			
	ラステット注	100 mg/m2								
	調製開始から3時間以内に投与終了									
21	ソルデム3A 200mL	1 B	メイン	3時間		○	○			
22	ラクテック注 500mL	1 B	メイン	8時間		○	○			
23	生理食塩液 100mL	1 B	側管	30分				○		
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	2 V		AM6:00～						